

アユの産卵状況について

今年の主要天然河川でのアユの産卵量は、約97億粒と平年値113億粒の86%、天然河川と人工河川でふ化して琵琶湖へ流下したアユの総数は、約218億尾と平年値255億尾の86%となり、平年並み近くまで回復してきました。

1. 今年の産卵量

- ・主要天然河川の産卵量は、約97億粒となりました。



主要河川の産卵量 (死卵を除いた値)

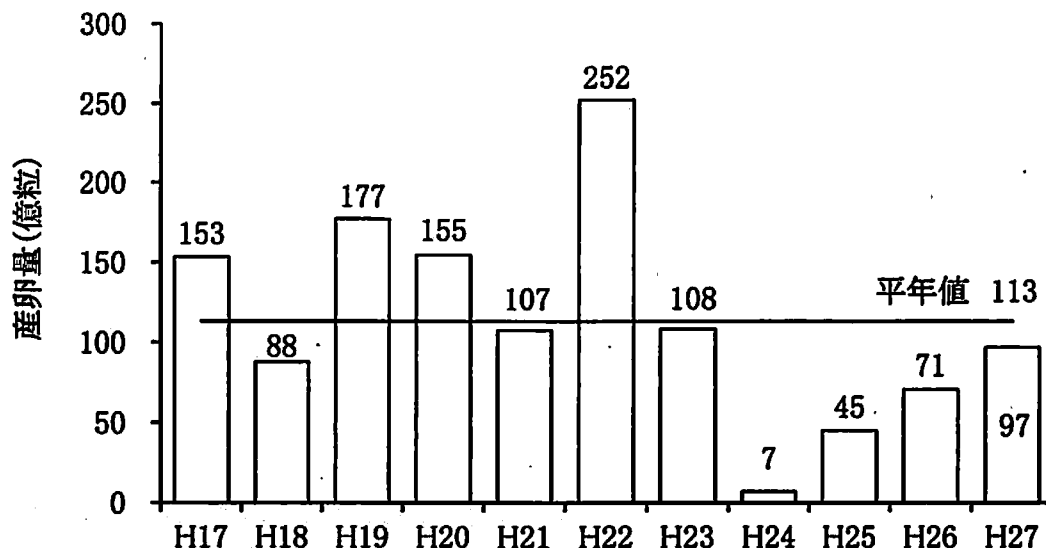
(単位:百万粒)

河川名	第1次調査	第2次調査	第3次調査	第4次調査	第5次調査	計
	8/24~26	9/7~16	9/24~10/1	10/9~16	10/28~30	
安曇川北流	渇水	1	8	渇水	渇水	9
安曇川南流	渇水	21	225	8	13	267
石田川	渇水	40	86	0	1	128
知内川	0	212	877	56	1	1,145
塩津大川	0	0	70	6	0	76
姉川	0	7,605	206	85	7	7,903
天野川	0	48	13	19	0	80
芹川	0	2	40	1	0	43
犬上川	0	4	0	0	0	5
愛知川	0	0	1	9	0	10
野洲川	0	0	3	27	0	30
和邇川	0	0	13	1	0	15
計	0	7,933	1,542	213	22	9,710

* 数値は表示単位未満を四捨五入しており、合計と内訳の計が一致しないことがあります。

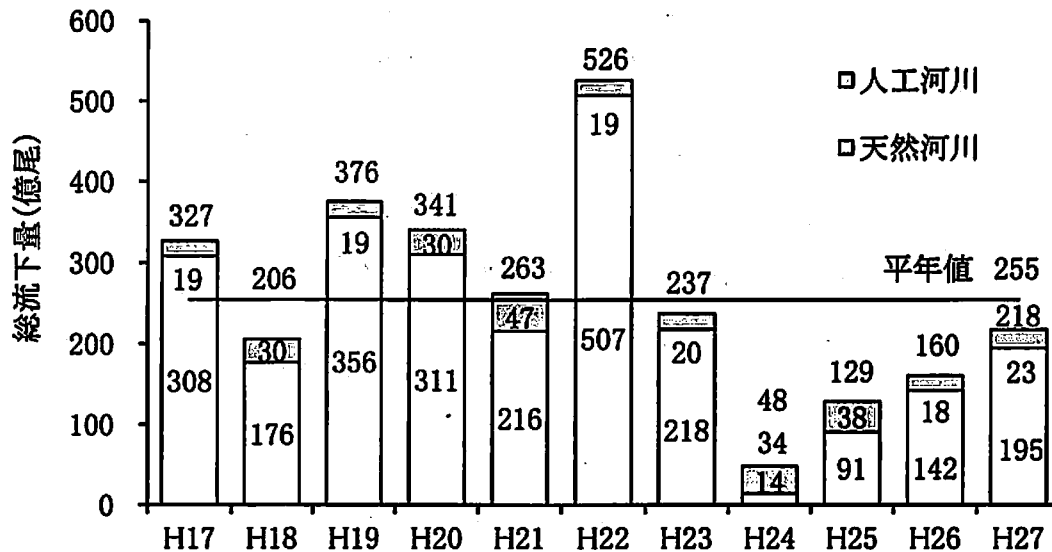
2. 産卵量の推移

- 産卵量は、H24年の7億粒(平年比6%)から、H25年45億粒(平年比40%)、H26年71億粒(平年比62%)、H27年97億粒(平年比86%)と回復傾向にあります。



3. 流下量の推移

- 天然河川と人工河川でふ化して琵琶湖へ流下したアユの総数は、H24年の48億尾(平年比19%)から、H25年129億尾(平年比50%)、H26年160億尾(平年比63%)、H27年218億尾(平年比86%)と回復傾向にあります。



* 過去の調査で産卵量の2.01倍のアユが琵琶湖へ流下することがわかっています。

4. 今後の予定

- 今後、アユの稚魚の生息状況や魚群数、漁獲状況など資源動向を注視していきます。
- より正確なアユ資源状況を早い時期に把握する技術を開発するとともに、人工河川を効果的に稼働することにより、資源の安定を図ります。